

# 新 木のはなし

## 今さら、人には聞けない

### 足立幸司、林 知行

◆◆ 35 ◆◆

当然のことですが、本紙の読者の頭の中には木材に関連した何らかの数値がたぐと入っていると思えます。例えば我が国の木材の供給率は30%を占めているが、人工林の蓄積のピークは9・10輪級になるところか、木材の蓄積量は1億2千万立方メートル、7500万立方メートルだ、といった具合です。また、次の数値は「わが国」の産材生産量に占める、①製材の生産量は？、②蓄積量は？、③ピークは？

④そのピークは？  
 ⑤それと、製材用が10・5万立方メートル、合板用が1・6万立方メートル、その他の21・5万立方メートルは木材チップ用です。つまり、国産広葉樹の95%はチップ

万立方メートルとなり、森林全体の蓄積量の29・1%を占めています。この蓄積量を単純に年間の蓄積供給量293・6万立方メートルで割ってみると、40年になります。つまり、640年分の蓄積が山に残されたまま、たどたどしく動定になります。実際には人工林の広葉樹もあるでしょうから、もっと大きな値になるはずですが、

このようになります。比較のために、おなじみだとは思いますが、人工林の針葉樹の輪級別分布を図1(b)に示しました。天然林広葉樹でも、12輪級あたりからピークが見られますが、これはエネルギー革命による里山放棄から半世紀が経過したためと思われます。それよりもっと顕著な特徴は、19輪級以上は最大のピークがあることです。言うまでもなく、ブナやナラなどの広葉樹の成長速度は、スギなどの針葉樹に比べてはるかに遅いので、主用途である家具用材としても用いられるようになるためには80年

はかかると言われてお

の広葉樹林はまだまた若いと言えらるかもしれせん、最低でもあと30年は必要であるということになるかと思えます。

## 国産広葉樹は？

このように、業界の一部を除けば、取り立てて注目されておらず、少ない国産広葉樹ですが、地域創生のためには、その活用が避けて通れないと思われまふ。一口で言うのは簡単だが、「どこ」のどの樹種か、どの樹種か、どうやって育てていくか、ともあれ、今回は国産広葉樹をテーマとして、基本的な統計資料をまとめたうえで、木高研で取り組んでいる研究開発について紹介した

いと思えます。蓄積量と生産量(平成2015年(平成2015年)の木材統計を成り年度)の木材統計を

と、製材用が10・5万立方メートル、合板用が1・6万立方メートル、その他の21・5万立方メートルは木材チップ用です。つまり、国産広葉樹の95%はチップ

わが国、製材用が10・5万立方メートル、合板用が1・6万立方メートル、その他の21・5万立方メートルは木材チップ用です。つまり、国産広葉樹の95%はチップ

わが国、製材用が10・5万立方メートル、合板用が1・6万立方メートル、その他の21・5万立方メートルは木材チップ用です。つまり、国産広葉樹の95%はチップ

わが国、製材用が10・5万立方メートル、合板用が1・6万立方メートル、その他の21・5万立方メートルは木材チップ用です。つまり、国産広葉樹の95%はチップ

わが国、製材用が10・5万立方メートル、合板用が1・6万立方メートル、その他の21・5万立方メートルは木材チップ用です。つまり、国産広葉樹の95%はチップ

わが国、製材用が10・5万立方メートル、合板用が1・6万立方メートル、その他の21・5万立方メートルは木材チップ用です。つまり、国産広葉樹の95%はチップ

わが国、製材用が10・5万立方メートル、合板用が1・6万立方メートル、その他の21・5万立方メートルは木材チップ用です。つまり、国産広葉樹の95%はチップ

わが国、製材用が10・5万立方メートル、合板用が1・6万立方メートル、その他の21・5万立方メートルは木材チップ用です。つまり、国産広葉樹の95%はチップ

わが国、製材用が10・5万立方メートル、合板用が1・6万立方メートル、その他の21・5万立方メートルは木材チップ用です。つまり、国産広葉樹の95%はチップ

わが国、製材用が10・5万立方メートル、合板用が1・6万立方メートル、その他の21・5万立方メートルは木材チップ用です。つまり、国産広葉樹の95%はチップ

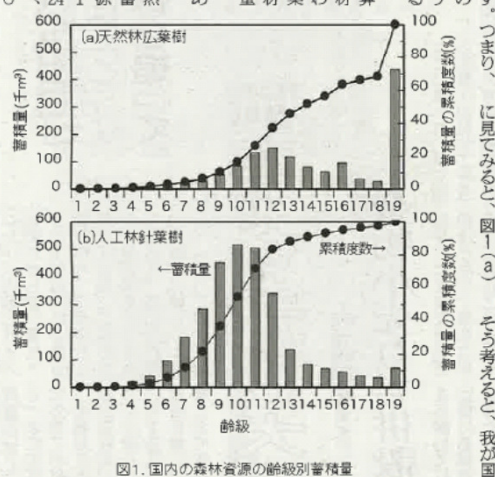


図1. 国内の森林資源の齢級別蓄積量

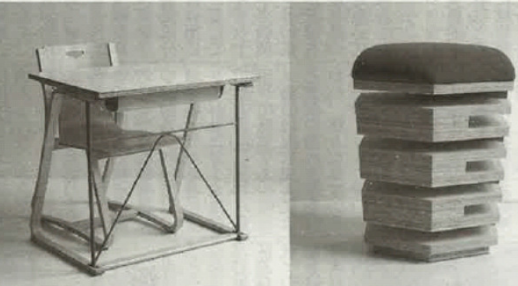


図2. 秋田県産広葉樹材を用いて開発した家具(右:ソリッドウッドデスク、左:ソリッドウッドチェア)。左:inter case(青森県製作所)

わが国、製材用が10・5万立方メートル、合板用が1・6万立方メートル、その他の21・5万立方メートルは木材チップ用です。つまり、国産広葉樹の95%はチップ

わが国、製材用が10・5万立方メートル、合板用が1・6万立方メートル、その他の21・5万立方メートルは木材チップ用です。つまり、国産広葉樹の95%はチップ